

第 1524 回 12 月 年忘れ家族同伴例会懇親会

12 月 19 日火曜日に 12 月例会、並びに家族同伴例会が開催されました。



開会の挨拶では、細川会長が 12 月 16 日片山津のホテルアローレに於いて開催された「LQ 体験会」について触れ、よりよい社会を目指して、特に子供たちをより良い社会に導き出すことについてのお話がありました。その中で講師に我がクラブの L. 堀岡が壇上に立ち講演

する様子に触れ、金沢東ライオンズの株が上がったと感想を述べられていました。次に、今年の上半期が終わろうとしていることについて、70～80%のアクティビティが消化されたことについて、メンバーの皆様へ感謝の意を示されました。

今後については、いかなる困難なことが待ち受けているかもしれませんが、気を引き締めて、皆様方の更なるご協力お願いしまして、一句読まれ挨拶を締められました。

黄金踏む 銀杏並木 朝散歩

(こがねふむ いちょうなみき あささんぽ)

各種報告 PR 事項

東社会奉仕委員長より 12 月 12 日（火）に実施された 7 クラブ合同アクティビティ「若年層への献血啓蒙活動」について、無事終了したことについての報告と、引き続き来年の 1 月 28 日（日）の献血キャンペーン活動の参加依頼がありました。

年忘れ家族同伴懇親会

同日 18:00 より ANA ホリディ・イン金沢スカイに於いて、年忘れ家族同伴懇親会が賑やかに開催されました。冒頭の会長挨拶では、細川会長がメンバーと家族の方々合わせて 100 名近くの皆様にご参加いただいたことに感謝され、本日の主役は子供たちです。特に日本の将来を担う子供たちに聞いてもらいたいと思います。

昔お金持ちの老人が病で入院しておりました。外が騒がしいので窓を開けてみると、楽しそうに騒いでいました。それを見ていた老人が、子供たちに「私のお金を全部あげるから、年を代わって貰えないか」とお願いしたというお話がありました。それほど若いという年齢は大切なものです。

これから子供たちには、未来が待っています。その

将来に向かって夢を実現する為には、我慢することも沢山あると思います。大谷選手も夢を持ち一生懸命に勉強したり、家の手伝いをしたり、練習を沢山したり、時にはよく遊んだりして、世界一になりました。一日一日を大切にということをお話され、子供たちに頑張ることを伝えて挨拶をしめくりました。



続いて L. 村上がユーモアを交えた乾杯のご挨拶をされ、懇親会が華々しく開催されました。

懇親会では、フレアパーティーによる華麗なパフォーマンスショーが繰り広げられ、L.L や子供たちにはノンアルコールのカクテル

が振舞われ、その後 L. 寺西扮するサンタクロースに、L. 矢野扮するトナカイが、参加された子供たちにプレゼントが配られ、場内のクリスマスムードが最高潮に達しました。



テールツイスター登場では L. 永野が頓智クイズで場を和ませ、中締めでは L. 長基が大谷選手や、吉田投手を例にとり、来年は景気の良い年になることを祈念いたしまして、締められました。

(記事:多田浩人幹事)